

CONTENTS

HAYANO GROUP
COMMUNICATION MAGAZINE

表紙の写真

雑誌「川柳常会」

「川柳常会」は、大東亜戦争下の昭和18年7月7日刊行された。編集主幹は蘿原春雨氏である。「我もまた撃ちし止まむ十七字」創刊号・発刊の言葉に寄せた春雨氏の心気が伝わってくる。

毎号に「陣中吟」と題し、戦地からの投稿句を載せ絶賛な編集ぶりを見ることが出来る。この編集は戦闘詩として人気があり、遅く演劇團拓勇軍や戦地の兵士に送られた。

表紙絵は時代を反映して軍事色の強いものばかりである。写真掲載には海軍省の許可を得るなど戦時下の苦労が想われる。

金丸玉之、田中浮世亭、清水狂亭、高山すずらが、毎号秀句を寄せている。

発刊以来順調に号を重ねて行ったものの、戦時下の統制にあり、紙不足の憂き目にあり、昭和19年5月号(全11冊)を以て終刊となる。満1年目の特集号は、隨の目を見ることはなかった。

定価25銭、2色刷、20頁。

(解説:奈良金美文庫 植松光宏)

「MUH」vol.23 2000.10.1

企画／早野グループ「MUH」編集室

深沢進・矢田道生・久保田充一・坂本孝治

編集／株式会社ニュースメディア甲府

三浦弘・三井君男・高山ひとみ・原田陽子／

宮塚利雄・杉村聰・青木茂樹／

浅川毅・橋曳明・永田宏

印刷／株式会社サンニチ印刷

誌名の「MUH」は、早野組の社旗である「和」を託した

Mate (仲間) Union (結束) Harmony (調和) の頭文字から
とりました。幻のムー大陸のロマンを目指します。

| CONTENTS | |
|---|----|
| フォーラム | |
| テーマ 好きな場所 江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・佐藤眞佐美 | 2 |
| 対談 | |
| 山梨21 堤マサコさん 山梨県立女子短期大学教授 | 4 |
| わが家の幸せ計画 | |
| 日本の家庭はこう変わった | |
| こう変わる | |
| ホスト 早野 潤 | |
| トピックス | |
| 統一に向かって胎動する韓国と北朝鮮 宮塚利雄 | 10 |
| ウォッチング | |
| 株式会社 やさしい手甲府 代表取締役 海野 一幸氏 | 11 |
| サークル訪問 | |
| まちなかの音楽祭コンテスト実行委員会 | 13 |
| セミナー | |
| 「安心の経済から信頼の経済へ」青木茂樹 | 14 |
| レディースセミナー | |
| 「子どもたちに手渡すもの」 浅川玲子 | 15 |
| インフォメーション | |
| トヨタホーム山梨・甲府通運・早野組・トヨタビスタ山梨 | 16 |
| 歴史 | |
| 武田義信 上野晴朗 | 18 |
| 美術 | |
| ボクの美術品観察日記15 山本育夫 | 20 |
| BOOK こんなところに山梨… BOOKコーナー 「甲斐百八靈場」 | 22 |
| お茶の間の民俗学(14) —ふるさとの心と味(9)— 志摩阿木夫 | 23 |
| 海を見るハイキング | |
| 大柳川・梨の木沢 まぼろしの滝 上野 嶽 | 24 |
| 甲府通運前史を訪ねる(16) 林陽一郎 | 25 |
| ユーザー訪問 | |
| ニューみなみ | 26 |
| お家探見 | |
| 鈴木 知さん | 27 |
| エッセイ | |
| パンコク・町角の主役 不二牧駿 | 28 |
| ときのひと・FACE | |
| 甲府通運株式会社 本社事務 加賀まるみさん | 29 |
| トレンド | |
| 今どきのレッグウェア | 30 |
| おしゃれ 有限会社 大輝 たべる リストランテ カントウ | 31 |
| コラム | |
| 某月某日 杉村 聰 | 32 |



早野 潔

ゲスト

つつみ

堤 マサエさん

山梨県立女子短期大学教授

ホスト

はやの 早野 潔

早野組社長

■ ジェットコースター並みのバス ブラジルの日系農村を訪ねる

早野 この夏はブラジルにいらっしゃったとか。

堤 4年に一度、世界農村社会学会というのがあります、それで参りました。わたしの研究テーマは、農村の家族についてで、日本の農村の継続性と変化、相続、これから農業や暮らしはどうなっていくのかなどについて話してきました。

早野 ブラジルは広いでしょう。

堤 広い国ですね。

早野 どういう広さなのでしょう。

堤 サンパウロから農村地帯に行く道路でさえも、片側3車線、4車線です。田舎へ行くほど車の数はめっきり少なくなりますが、それでもよく整備された道路で、広いです。

道路は丘陵地帯を貫き、いちじるしくアップダウンしていました。バスの一番最前列に乗り合わせたのですが、運転手はものともせずにスピードを上げていきます。思わず、ジェットコースターに乗っているのじゃないのだからと、声が出ました。どこまでも続く道路にも広さを感じました。

早野 日本からの移民は歴史が長いですよね。もう6世の方もいるのではないかでしょうか。

堤 サンパウロから2時間ほど離れたイタペチという日本人のつくった日系の村を訪ねました。日本から移民をされた方々と交流をしてきましたが、もっとも印象に残ったのは、村の方の「日本を離れてはじめて日本人になった」という言葉です。

早野 ほう。人口はどれくらいでしょうか。日本人ばかりの村ですか。

堤 日系人だけでも多いときは1500人くらい、今は700人くらいあります。お会いしたのは、3世ですが、日本の文化をとても大切にしていて、しかも、次の代に伝えていくという強い意志をおもちです。日本人のための小中高校があって、また、日本人学校も別に設けられていて、きちんと日本語の教育がなされています。

図書館もありましたが、この図書館は、山梨県の方が作ってくれ、かつ、今でも日本から本を寄贈してくれているだと話してくれました。

早野 国際交流というのは、個人レベルでもいろいろと行われているんですね。どんな農産物を栽培しているのでしょうか。

堤 花も果樹も栽培しています。ブドウ、ピーチ、カキもあります。ブドウは日本と同じで、棚栽培でした。労働力は、地元の方を雇っています。

■ 外国で日本を実感 歳時記を大切にした暮らし

早野 カキとはまた、いかにも日本的なですね。カキは、日本を代表する、しかも古くからの果物ですからねえ。

堤 おっしゃるとおりです。日本からもっていったものでしょう。面白いのは、カキは、ポルトガル語で、そのまま「カキ」というのです。剪定も、よく行き届いています。

早野 日本人は器用ですから、技術も丹念で、きっと美味しい果物が採れるでしょうね。

堤 思いのほか先進的で、花づくりにしても、栽培するだけではなく、一軒の農家には研究室もあり、収穫から出荷に至る管理まで、総合的に

経営しています。

早野 ITはいかがですか。

堤 長野県の飯田から来たという二世は、ITを進化させ、30万羽という養鶏場を経営されていました。発展途上国といえども、とても進んでいる領域があります。進んでいるものと遅れているものの格差があるので、大学など教育に関しては、かなりの投資をしています。

早野 日常の暮らしのなかでの日本的なものはいかがでしょう。

堤 正月やお盆の行事をはじめ、日本の伝統をそのまま受け継いでいます。しかも、誇りをもち、積極的です。村には自治会もあって、この組織も、日本からのいわゆる輸入です。まるで、日本の村です。

早野 テレビや、新聞はいかがでしょう。

堤 日本とブラジルは、ちょうど12時間、時差がありますが、もう、リアルタイムです。テレビも、NHKなどが観られます。日本の情報は、皆さん、たいへん関心と興味をもたれています。それから、日本語によるサンパウロ新聞というのがあります。

ブラジルは広い国ですが、その村を訪ねたときには、ここは日本ではないのかという錯覚におちいりました。日系の移民の村は、まさに日本の村でした。

早野 小さい日本国、といった村なのですね。

■ 少子化と後継者問題 ブラジルでは娘が婿を

早野 日系人の村、イタペチの農村では、今、どんな問題を抱えているのでしょうか。



堤 やはり、高齢化により、後継者が少なくなっています。また、二世、三世の方は高学歴を身につけ、さまざまな分野を目指しています。

早野 日本の農村問題と共にあります。

堤 しかし、日本は少子社会ですが、ブラジルは、それほどではありません。

早野 すると、後継者問題も、性質が異なりますね。

堤 日系の家庭でも、5人、6人と、子供がいます。大家族です。ですから、積極的な農業後継者がいなくとも、大勢いる子供のなかから、いずれ誰かが跡を継いでくれるかもしれないという期待と、懇めがあります。

お訪ねした一軒では、娘さんがお嬢さんを連れてきて、そして農業を後継していました。なるほどと感心し

ました。

早野 これから傾向を占うひとつ

の姿でしょうかねえ。

お話を伺っていますと、あらためて、日本とは何か、家族とは何かを考えてしまいます。日本の家族はどう

に変質してきたのでしょうか。また、将来はどうなっていくのでしょうか。

堤 戦後、日本の社会はどう

変わったか、併せて、家族はどう

変わったかをたどってみますと、わた

たちの暮らしの流れが見えてきます。

家族がここで変わった、といえる

た時期です。

早野 社会と家族は、いつも関わりをもって、暮らしを変化させているのです。戦後は民主化がはじまりましたよね。学校の6・3・3制も実施されました。そうです、第1次ベビーブームが起こりました。

堤 戦後間もなくは、暮らしに関わるさまざまな制度ができました。憲法、民法、労働組合法、学校教育法、農地改革などがありますよね。家の制度が廃止され、夫婦家族制度になったことで、人間関係も、親子関係中心から、夫婦関係中心になっていきました。

早野 平等という言葉が、しきりに耳につきましたね。

■ 日本の家族はどう変わった タテからヨコの人間関係

堤 日本の社会は長い間、タテ社会といわれてきましたが、しだいにヨコの関係が一般的になっていきました。女性の地位も変わっていきました。

早野 「戦後強くなったのは女と靴下」なんてよくいわれたものでした。あの頃の平均世帯規模というものはどれくらいだったのでしょうか。また、平均寿命はどうだったのでしょうか。

堤 戦後10年目の1955年で、一世帯は5人です。平均寿命は、1950年で男50歳、女54歳といったところではなかったでしょうか。

1960年前後から、経済の高度成長がはじまります。東海道新幹線が開通し、東京オリンピックが開催されました。この産業構造の高度化は、家族と暮らしに大きな影響を及ぼしていきます。

多くの人が、農村から都市へと、仕事を求めて移動しました。都市で暮らすようになると、生活様式も一変します。住むところは狭いので、家族の人数はおのずから少なくなっています。

早野 核家族化、小家族化のきざしが見えはじまるわけですね。

社会の動きとしては、「いざなぎ景気」「昭和元禄」と呼ばれた時代でしたねえ。消費者物価が上昇しました。公害や環境問題が取り沙汰されるようになりました。大学紛争もありました。

堤 都会は過密、農村は過疎という現象が起きました。社会や経済とともに、人や家族も、変化します。女性、ことに既婚女性の就労が増加していったのもこの頃です。見合結婚から恋愛結婚へと、結婚の姿も変わりました。離婚率も増加しました。

早野 高度経済成長による二度目の

家族の変化だったわけですね。三度目は、何によって影響されたのでしょうか。

堤 1980年頃からの安定成長が、価値観の変化、多様化を生んでいきました。

どういう時期であったかといいますと、都市へとあらゆるもののが集中しましたから、その結果として、交通渋滞、住宅問題、騒音などの環境問題、つまり、都市問題とくられる諸問題が発生しました。首都圏や都市への一極集中を是正して、多極分散型の地域づくりをしなければならないといったことが提唱されました。

日本が実質的にも、先進国の仲間入りをするようになった時代ですね。

早野 平均世帯規模はどのくらいでしたか。平均寿命はどうなっていましたか。

堤 世帯規模は3.3人と減少しています。平均寿命は、すでに男75歳、

女80歳へと着々と向かっていきました。

核家族化、小家族化はさらに進み、さらに単身化、個人化の傾向となっていきます。多くの女性が社会に出で働くようになりました。

早野 経済が安定し、人が自立し、個人化していくことで、人と暮らしの価値観はどう多様化していったのでしょうか。

堤 物優先、経済優先から、こころ、ゆとり、生活優先という方向をもつようになりました。

早野 時代はやがてバブルの崩壊、環境問題の悪化、阪神大震災と、なんですか、暗い事柄ばかりが印象に残ってしまう状況をたどって、今日に至っています。

家族の問題といえば、親子の断絶、子供の孤立などが気にかかります。

堤 最近は失業率は4.8%、出生率は低下、さらに、中高年の離婚は



半世紀以上にわたって分断し、対立してきた韓国と北朝鮮の首脳が会談し、6月15日に①南北間の和解と統一②緊張緩和と平和定着③朝鮮戦争で離れ離れになった離散家族の再会④経済・社会・文化など、多方面の交流・協力などで合意し、金大中大統領と金正日国防委員長が署名した。この合意によって両国は半世紀にわたる「戦争状態」という緊張した状態から脱却し、「共生・共栄」への協調時代へ入った。それにしてもこの合意までの道のりは、両国にとって余りにも長すぎた。

承知の如く、韓国と北朝鮮は朝鮮半島の中央部で南北の幅4キロ、東西の長さ241キロという軍事境界線(非武装地帯)を挟んで、激しい軍事的対立を続けてきたが、この軍事的対峙に費やされるリスクは両国の政治・経済・社会に多大な影響を与えてきた。それだけにこのリスクがこの合意によって減少する効果は、図り知れない。

合意から3カ月が経った。悲願である民族統一へ向けて、両国政府は一步ずつ確実に歩みはじめている。早くも8月15日にはソウルと平壤で南北双方の離散家族100人ずつが、朝鮮戦争で離れ離れになって以来50年ぶりに再会した。この間、南北の離散家族は互いに手が届く距離にありながらも、書信のやりとりもできず、生死の確認もできなかったのである。離散家族は南北双方で約1000万人といわれている。韓国側では8月15日の離散家族再会へ申請した人が、7万人以上にも達した。これからも離散家族再会の事業は継続して行うというが、希望者全員が

両国の経済交流に日本資本の導入は必至

宮塚利雄

山梨学院大学
経営情報学部教授

統一に向かって胎動する韓国と北朝鮮



南北離散家族の再会を実現させ、ついで北朝鮮は軍事境界線を挟んで断絶したままになっている、京義線鉄道(京城-新義州)の復旧工事および鉄道に並行する4車線の南北連絡道路の建設を手始めに、大型の経済事業が継続して行われていくが、これらには莫大な財源が必要であり、日本の協力が必要となる。金大中大統領も日本と北朝鮮の国交正常化が実現し、「請求権問題が解決して日本の北朝鮮に対する経済支援が実現した時、北朝鮮は急速に経済を発展させることができる」と、ジャパンマネーへの期待を表明している。日本企業にとって北朝鮮ビジネスの機会到来が期待されるところである。

ところで、分断国家である韓国・北朝鮮はたしかに政治的・軍事的な対峙は続けてきたが、経済交流は数年前から行われている。いわゆる「政経分離」による経済交流である。北朝鮮の安価な労働力を使って、低成本で生産できる衣類などの「委託生産加工」は人気で、これら北朝鮮

で生産された製品が、韓国の商社を通じて日本の市場でも販売されていることは、意外と知られていない。韓国では今、大企業から中小企業にいたるまで、「北朝鮮特需」への期待が取り沙汰されている。主な経済協力の対象としては①社会間接資本(工業団地造成、道路・鉄道連結、港湾設備の整備)②農業生産基盤(肥料、農薬、農機具、種子改良)③消費財(織維、靴、衣服、裁縫)④エネルギー(電力、精油施設)⑤通信(港湾通信網、交易・投資専用通信網)など、多分野にわたっている。

韓国の経済界にとって、北朝鮮特需はまさに「千載一遇」でもあるが、韓国独自の財力だけではこの事業を推進することは不可能である。と言うのも、資本や技術、輸出市場としての存在の大きさからも、日本抜きにしての南北経済事業には限界があるからである。

南北離散家族の再会を実現させ、ついで北朝鮮は軍事境界線を挟んで断絶したままになっている、京義線鉄道(京城-新義州)の復旧工事および鉄道に並行する4車線の南北連絡道路の建設を手始めに、大型の経済事業が継続して行われていくが、これらには莫大な財源が必要であり、日本の協力が必要となる。金大中大統領も日本と北朝鮮の国交正常化が実現し、「請求権問題が解決して日本の北朝鮮に対する経済支援が実現した時、北朝鮮は急速に経済を発展させることができる」と、ジャパンマネーへの期待を表明している。日本企業にとって北朝鮮ビジネスの機会到来が期待されるところである。

統計によれば、2025年までは3人に1人が65歳以上になるという。本格的な超高齢化社会を迎えるこの4月には介護保険もスタートしたが、制度として浸透していくのはまだこれから。介護サービスを受けたいが、どうしたらいいのかよくわからないという声も聞こえる中、今回はまごころこもった家庭的なお世話を利用者から好評を博している、民間の介護サービス会社を紹介したい。

住み慣れた場所での自立支援を推進

(株)やさしい手甲府は、在宅介護をトータル的に支援している会社だ。同業他社は福祉施設を含めると、甲府市内だけでも約110件ほどあるが、その中でもホームヘルプ事業を中心に行っているところが大きな特徴。今春の設立までは、約200人ものヘルパー養成を行い、5月からはその人たちが中心となって活躍してきた。

「要介護の人が家庭にいると生活スタイルが一変してしまいます。そこで家族の負担を少しでも軽減し、自立支援をお手伝いするのが、私たちの仕事なんです」と海野社長。デイサービスについてはこれまで忍野村

で全面委託、勝沼町では賃貸借による運営を行ってきたが、この夏、甲府市朝日町に独自のサービス施設をオープンさせた。朝日町に開設したのも、街から遠く離れた山間部ではなく、住み慣れた場所でこれまで通りの生活を続けてほしいと願うからだ。急に生活環境が変われば、対人関係など余計なストレスが発生してしまう。それは何も高齢者でなくとも同じこと。今までの生活の延長線上にあるという点では、利用者の立場からするととても有り難い。「私たちが推進しているのはあくまでも在宅介護であり、自立支援ですから」と社長が繰り返し、説明してくれた。



●株式会社 やさしい手甲府データ●
平成11年5月設立。全国的にフランチャイズ展開している(株)やさしい手と契約。甲府市を中心とした事業所及び10ヶ所以上のサテライトをつくり、介護サービス事業を行っている。資本金3千万円。ヘルパー140名。うち専門スタッフ35名。平成12年8月には、朝日町にデイサービスセンター「朝日町介楽館」もOPENさせた。
〒400-0225 山梨県甲府市朝日5-4-16 ☎0120(063)226



株式会社 やさしい手甲府

代表取締役
海野一幸
うみの かずゆき



三位一体の取り組みがキーポイントに

今まで家庭に他人が入ること自由、疎まれてきたが、在宅介護という面においては、必然性が高まるにつれ、次第にオープンになってゆくだろう。(株)やさしい手甲府ではVTRによる勉強会など、ヘルパーの質の向上に余念がない。おかげで利用者の多くの方々から依頼して良かったという答えが戻ってきていているという。

「いろいろ夢がありましてね。企業に出向いて行ってその一角を貸していただき、一日介護相談などをするのは来月くらいから行う予定。また、タクシー会社や物販会社など異業種の人たちと協同組合を設立するため、目下準備中で、また各々が持つノウハウを提供し合うということも11月から実験的にスタートさせる予定です」。

現在、県内で(株)やさしい手甲府が介護サービスに携わっているのは36市町村だが「創業時期は行政と住民と私たち民間業者が三位一体となって取り組んでゆく必要性を唱え、私達の子供が将来安心して暮らせるように、まずはここ2、3年でその基盤整備をしたいんです」。熱っぽく語る海野社長に、21世紀の産業を垣間見た気がした。



サークル訪問

汗で青つ 感性が光る
街にめばえる文化探訪

今年の甲府ウィークは“まちなか”がいちだんと面白い

まちなかの音楽祭 コンテスト実行委員会

名実ともに 「まちなかの音楽祭」 が実現

すでに3年目を迎える甲府ウィーク。市制施行記念日を中心に約2週間にわたって開かれるこのお祭りは、もともと産業の振興や中心部の活性化を図る目的で始められたが、年々盛り上がりを見せているようだ。とりわけ、県の大型観光キャンペーンが絡む今年は今まで以上に大勢の見物客が予想される。ここでは、その見どころを紹介したい。

来て見て参加して 楽しんでほしい

甲府市中心街・かすがもーるで開催される「まちなかの音楽祭コンテスト」も、そのひとつ。当商店街では、昨年秋から月1回ナイトバザール時にストリートミュージシャンらに声をかけ、ミニライブを行ってきたが、今回はその集大成であるという。

「会場が市役所前からこちらへ移って、名実ともに“まちなか”的音楽祭となりましたよ」と木造さん。

ギー や喜びを与えてくれるもの。かすがもーるに人が集まり、ますます活気あふれるよう、音楽の力に期待してみたい。

「ここから1人でも2人でも有名人が出てくれたらうれしいですね」と話す木造さん。参加者以上に願いを秘めている、熱い心の持ち主のように思えた。

コンテストの他にも、周辺一帯でバザールや福引き抽選会、屋台祭りやショーなど様々な催しが行われるので、たっぷり楽しめる。14、15日はみんなを誘い合わせて、中心街へ出かけよう。

◆まちなかの音楽祭コンテスト実行委員会◆
商店街“かすがもーる”の若手5人で構成。市役所や商工会議所、FM甲府と協力し合いながら毎年、甲府ウィークで手作りのイベント企画・運営を行っている。昨年は「タウンウェーティング」を実施。県内初ということもあり、買い物客を巻き込んで大成功をさせめた。

委員長 木造 雅隆
連絡先 T400-0026 中府市中央1-2-10 ☎055(235)1328



1.安心社会の崩壊

日本経済は徐々に立ち直りの兆しを見せる産業も出て来ているが、構造的な変化として捉えておくべき問題は、安心社会が崩壊したということであろう。

一体、安心社会とは何か？これまでの日本は、「この銀行なら安心」「警察だから安心」「この政治家なら安心」「この製品は大企業のものだから安心」といった安心社会であった。山岸俊男氏は「信頼の構造」という本のなかで、「これまでの日本社会は信頼社会といわれてきたが、実は黙っておけば自分の身が安心という意味での安心社会であった」と書いている。

一般に日本は信頼社会だというが、山岸氏曰く「これは決して信頼社会なのではなく、ただ単に見て見ぬ振りをすることが自分の利益に繋がるからだ」という。先の例を振り返りながら考えると何とも耳の痛い話ではないか？

一方、信頼社会は、情報を開示しながら顧客との信頼関係を形成していくことであり、社会的不確実性が高いときにこそ生まれてくる概念だ。アメリカ社会は情報開示という観点からすれば、信頼社会なのだと見えるのではないか？

「買ってはいけない」という大企業の製品に対する告発本が流行ったが、その影響を受けてか、または薬事法が2001年4月から規制緩和の流れで改正になり、パーソナルケア商品への全成分の表示が義務づけとなることを先取りしてなのかは分

「安心の経済から信頼の経済へ」

山梨学院大学
助教授

青木 茂樹

からないが、ライオンは植物物語の全成分の表示をインターネットで公開した。これもブランド・イメージが傷ついたときの対処法としては、妥当なものであろう。こうした努力によって信頼は勝ち取るものであり、これは今まで我々が経験してきた安心とはやはり意味が異なるようだ。

2.情報の閉鎖的保有から情報の共有へ

今までの日本企業では、人の繋がりが重視され、「大企業と下請け企業」「企業内労働組合」「メインバンク制度」「系列化」「護送船団方式」「事業者団体」「天下り」など諸外国では見られない関係が維持されてきた。これは、人的関係を深めることにより、暗黙知を中心とした情報の共有

化が進んでいたことを示す。これらこそ日本の経営として世界から注目されたものであるが、この「失われた10年」の間に、閉鎖的、非競争的だと非難されるべき問題になってしまった。

一方、多民族国家アメリカでは、人的関係を基礎とした知の共有化が進まず、80年代、日本企業に大きな遅れをとることになった。しかし、このことがあったからこそ、IT(Information Technology)への投資を進め、90年代後半よりコンピュータを介しての形式知の共有化、ネットワーク化が形成されることとなり、今日の強いアメリカをつくることになったともいえる。

日本における知とは、個人と個人の間にのみ成立するものであり、優秀な営業マンとはこうした関係をいくつも構築している人であった。こうした知は、関係特定的な資産だととも言え、「他人には言えないが、俺とおまえの関係だから言うんだぞ」というような種のものが多い。自ずと閉鎖的な関係となるし、担当者が変われば一から関係を構築し直さなければならぬ。

しかし、今「勝ち組」に残っている企業は、これとは全く異なる知を形成している。多くの知はデータベースとして共有化され、全ての営業マンは端末を持ち、いつでもどこでもその情報を引き出せるし、また情報を加えることもできる。今日の優秀な営業マンとは、こうしたデータベースにアクセスし自由に情報のやりとりができる、さらに個性的な魅力と信用できる人間性をもつ者をいうのではなかろうか。

くしがた図書館館長
浅川 玲子



西暦2000年は『子ども読書年』です。のだと話してくれました。子どもの読書活動を国を挙げて応援しようと、国会の衆・参両院で決議された国のお話を伝えたいと願っている大人のです。子どもたちに読書の大切さを伝えるために決められました。

「お父さん、このしんかんせんの本借りたいなあ」「お母さん、この絵本よんで」と、図書館のおはなし室から小さい子どもの可愛い声が聞こえます。図書館のこどもコーナーにあるたくさんの絵本の中からお気に入りの本を見つけて、大好きな大人に読み聞かせてもらおうなんて、子どもにとってこんなにうれしいことはありません。

図書館や文庫や地域で、子どもに本をすすめる仕事にかかわって40年近くなる私は、若いお父さん、お母さんに、

わが子が赤ちゃんの時から絵本の読み聞かせをしてほしい、と言い続けてきました。大人が子どもに本を読んであげると、子どもは大好きな人の肉声を、心地よいリズムとして聞きとります。

昔話は、夜いろはたや姫姫でおじいちゃんやおばあちゃんから孫へ語り継がれてきた伝承文学です。

昔話の表現は簡潔で、いつ、どこで、だれがから始まるので、素朴な心の持つてきな絵本の魅力にはまってしまうことが多いのです。

今年は山梨でも『子ども読書年』を記念して、子どもに本を手渡す大人達が、

近くの公共図書館を利用しての読み聞かせは、お金をかけないで出来る親から子どもへのかけがえのない贈り物です。

でも、三日坊主ではなく継続することが大事で、子どもとふれあう楽しいひとときを大切にしましょう。

子どもの時、絵本を読みきかせても書館ボランティアの母親にとって、今年らったわが家の息子は今40歳、二人の父親になって毎晩子どもに読み聞かせ本を手渡すグループの輪が、県内に大きく広がることを願っております。

「子どもたちに手渡すもの」

INFORMATION

エコハウス

地球にやさしいエコハウスってどのような家のことなの?

■30年しか生きられないの?

住宅の平均寿命は、イギリスの141年、アメリカの103年に對して、日本ではわずか30年。その理由は構造の弱さもありますが、メンテナンスやリフォームをしないことにも原因があるのです。雨・風・地震などの自然現象によって、家も少しづつ年をとり傷み、「住まいの病気」にもかかります。住まいも健康診断を行い、手当をしながら長く住み続けたいですね。

■壊してしまえば、すべてゴミ?

家を解体すると、一棟で30トンのゴミの量になるといわれます。ですから地球にやさしい住まいを考える時、「建て替える必要のない家」「建て替えなくても長く住み続けられる家」であることは、家をゴミにしないためにも大切な条件の一つなのです。長持ちする家は、建て替えサイクルが長いという点で経済的であり、地球資源をムダ使いしないという面でも優れています。

長く住み続けられる家。トヨタホームの「S&I」です。

■これから日本の住まいです。

充分なゆとりの空間を持ち、暮らしの変化や時代の変化も受け入れ、子や孫の世代へ受け継ぐ価値を持った「長く住み続けられる家」を考えました。私たちが忘れかけていた日本の風土特有の住文化を、トヨタの先進技術と融合させることにより、地震や台風などの自然災害に耐え、有害な化学物質から健康を守る住まいです。

■「S&I」発想の家です。

「システム手帳」は、中のノートは使い方に応じて自由に入替ができますから、表紙と紙を縫じるリングがしっかりとていれば、何年でも使い続ける事ができます。トヨタホームの「S&I」も基本は同じです。骨組みは、丈夫で長持ち。そして、丈夫な骨組みのおかげで、壁で建物を支える必要がなくなるため、住む空間が柔軟になります。トヨタホームは可変自由な住機能を組み込む事ができる、「長寿命の家」なのです。

トヨタホーム山梨(株)
本社:中日摩郡昭和町昭西1043 TEL055-275-1234 FAX055-275-7806

50年を振り返って

皆さまのご愛顧をもちまして、10月19日に弊社は50周年を迎えることができました。誠にありがとうございます。

昭和25年10月10日

先代早野鉄介が、通運事業の免許を取得、以来、中央本線の甲府駅、酒折駅、身延線・南甲府駅の通運取引業、通運代弁業、鉄道集配業、貨車積卸業、鉄道利用業を営む。

昭和25年12月21日

早野鉄介が社長を務める甲府小運送自動車(株)から、一般貨物自動車運送事業の譲渡を受け認可される。

昭和27年4月

蘇東運輸(現名鉄運輸)と業務提携、同社甲府営業所の代理業務を行う。

昭和31年1月19日

自動車運送取扱事業を登録。

昭和33年3月11日

一般路線貨物自動車運送事業の免許を取得し、甲府→東京間の路線運行を開始する。

当時、免許は運輸大臣の認可により取得できましたが、運送は荷主公衆のためという、いわゆる「公共的使命」を有するもので、その取得にあたっては大変苦労したと聞きます。創業以来、幾多の変遷を経てこそ、今日の甲府通運があります。50年の節目は先人の労苦と努力によって培われたこと、私たちは、大切に守ってきた現在の事業の重要性を再度認識し、荷主各位の信頼をより得られますよう、21世紀に向けて従業員一同さらに邁進していきます。

今後もご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

甲府通運(株)
本社:中日摩郡昭和町昭西1043 TEL055-275-1234 FAX055-275-7806

早野グループソフトボール大会 建築Aが優勝

9月15日敬老の日に、早野グループソフトボール大会が、15チームが参加して行われました。決勝は建築Aと舗装Cの対戦で行われ、11対10で建築Aが優勝しました。



オープン・スポーツドライビングへ 新登場! MR-S "V EDITION"

MR-S開発の原点「クルマは、人が楽しむために存在すべきである」。

走ることの樂び、操ることの樂しさを追求しました。そのため、ミッドシップという究極のパッケージを与えるとともに、徹底した軽量化を図り、さらにオープンルーフという爽快感をもたらしました。

ふりそぐ光、心地よい風、全身で開放感を感じいただけます。

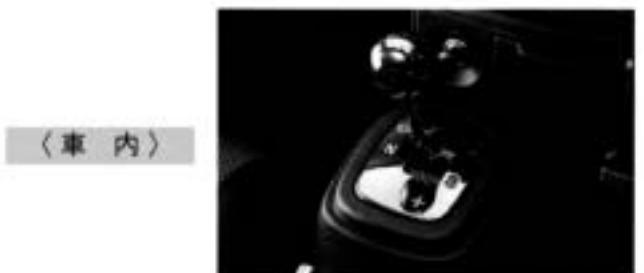
MR-Sを通して忘れかけていた何かを、きっと感じただけます。

スポーツ指向のアクティブなあなたにふさわしいMR-S! お近くのビスタ店で実感してください。

〈車外〉



〈車内〉



廃タイヤカーボン舗装

1. 目的

廃タイヤは発電・給湯用ボイラーの燃料として多く利用されているが、燃料用として再利用された後に発生する焼却残渣(廃タイヤカーボン)の需要が少なく、道路舗装用添加剤(アスファルト混合物への添加)として利用可能かどうかを追求する事を目的として研究がスタートした。

2. 廃タイヤカーボンの特徴

- ①廃タイヤカーボンの粒子は多孔質のため、熱伝導率が低く、外気温に影響されにくい特徴がある。
- ②比表面積が大きく、アスファルト量を増やすことができる
- ので、混合物の強度アップにつながっている。

3. 廃タイヤカーボン入りアスファルト混合物の特性

- ①廃タイヤの再々利用ということで、資源の有効利用に大いに貢献する。



②廃タイヤカーボンをアスファルト混合物に添加することによって、アスファルト混合物の強度がアップする。特に真夏に起こる流動わだち掘れに対する抵抗性が増大することが室内試験より確認されている。

③廃タイヤカーボンを添加することにより、夏場舗装路面温度の上昇を抑え、冬場舗装路面の低下を抑える効果が期待される。これにより、夏場の地表面温度の上昇を抑えられ、地球温暖化防止に寄与し、冬場舗装面が凍結しにくくなるため事故防止につながる。

4. 試験施工の実施

- 3月13日、早川町新倉の現場にて試験施工を実施。(密粒度アスコン)
- 3月14日、早川町薬袋の現場にて試験施工を実施。(密粒度アスコン)
- 8月15日、山梨中央自動車教習所の現場にて試験施工を実施(排水性アスコン)

5. 今後について

試験施工を重ねながら、供用後の調査確認を実施していく・事業化に向かって努力している。

*当社ホームページはyahooの検索に「早野鉄」を入力しますと一発で検索できます。

(株)早野鉄 本社:甲府市東光寺1-4-10 TEL055-235-1111
<http://www.hayano.co.jp>

両親から愛情をそそがれたのに
川中島合戦以来、
父信玄に楯突くようになった
その謀叛の真相とは

武田義信

(たけだよしのぶ)

上野 晴朗

うえの はるお
1923年山梨市生まれ。歴史家・作家。県立図書館郷土資料室
を経て67年から文筆活動に入る。著書に「甲斐武田氏」等多数。



京都市の成就院にある義信自筆の書状



絵本「信玄一代記」にのる切腹する義信の姿

太郎義信の手紙の包紙
切符がそのまま付いている
勝樂院は京都聖護院末 大月市北条明直氏蔵三条夫人の意を体して跡部又八郎は義信の元服
鎧を甲斐二ノ宮へ奉納した

武田義信の元服鎧と赤具足

天文7年(1538)武田晴信の嫡男、太郎義信は誕生している。父晴信は祖父信虎との葛藤があったにせよ、義信の成長は表向きは順風満帆だったといってよい。人も羨む武田晴信(信玄)の嫡男として生まれ、その血の中には公卿の清華七家の血が流れおり、三歳で袴着の式、十三歳で元服、十五歳で具足始めの儀式も無事終了した。

そして隣国、駿河の今川義元との同盟強化が図られ、義元の長女が義信のもとに嫁ぐことになり、天文21年(1552)4月、今川家と武田家の間に、同年11月入廻の旨の誓詞が取り交わされた。

この今川義元の娘は、信虎の息女が今川義元に嫁して生んだ子供であるから、義信とは従兄妹である。いずれにしてもこの結婚は、政略上両家にとって重要な意味をもっていた。とくに駿河の義元の母寿桂尼の肝煎りは大変で、また武田家でも婚儀に

向かって、館内の改築が進められ、天文21年6月、婚儀のための対の屋(夫人の居室)の棟上式が行われ、11月には約束通り義元の息女は、義信のもとに嫁してきたのである。

義信は天文22年十六歳になったとき、將軍義輝の偏諱をうけ、このとき初めて義信を名乗った。さらに翌年には初陣があり、また弘治2年(1556)には義信が將軍義輝に乞うて、義信を三管領に準じてもらっている。三管領というのは室町幕府の重職で、斯波、細川、畠山の三家しかない家柄であったから、それに準ずる資格というものは大変なもので、背景には三条公頼(三条夫人の父)の家柄が光っていたからであろう。

それにも関わらずその武田義信が、川中島合戦のころから、父信玄に楯突くようになり、ついには謀叛に走ってしまったというのであるから大変である。

しかし謀叛はすぐ発覚し、永禄8年(1565)それに与した飯富兵部虎

昌と長坂源五郎が誅せられ、永禄10年10月19日、義信もついに座敷牢のなかで自刃して果てた。東光寺の座敷牢に入れられたのは、永禄8年6月以降と思えるが、信玄は義信の死の直前には、その罪を許したともいわれる。

それにしてもこの義信謀叛の真相は、見えにくい部分が多い。たとえば「甲州二宮造立帳」という史料が、御坂町の美和神社に残されているが、この文書を見ると、永禄8年6月のもので武田義信を筆頭に、その親類衆と、その下には義信の家臣達が奉加帳に名を連ねている。名前を上げてみると、加津野孫四郎昌世、跡部藤五郎昌忠、長坂清四郎勝繁、漆戸主水佑虎光、市川善次昌房、跡部藤次郎昌秀、楠浦若狭守虎常、跡部又二郎昌長などが登場しており、しかもこの顔ぶれは、信玄家臣團の武勇に名を連ねた士隊将たちとは一線を画した武将達ばかりである。

ということは、義信衆というのではなく、そのほとんどが武田譜代の臣僚で固められており、実戦派の武力でのし上がってきた家臣とは、常に対立関係にあった仲であることがわかる。つまり義信衆に抜擢された重臣は信虎時代までは地方の代官、奉行などに任じられた名族達で、その中から飯富氏、曾禰氏のほか、長坂鈴木氏の子長坂源五郎、曾禰孫次郎昌世などが抜擢されたのである。

従ってこの人事というのは、甲斐の名族達、今井、栗原、大井、板垣、甘利、飯富、長坂氏らへの配慮から、まことにやむを得ない恩賞の一つとして生まれ出たことが窺える。

その結果、義信衆は譜代の家臣を

中心に、実戦派の宿老と本能的に対立する衆団として、ついに謀叛に走ってしまったのだと思える。要するに謀叛の原因は、義信一人の責任ではなかったのである。

つまり武田信玄が戦国に雄飛できたのは、その宿老となつた家臣のほとんどが、実戦からのし上がってきただ人々に占められており、その点、義信についていた家臣達は、内務臣僚が中心であった。ソロバンに強くても実戦には弱く、軍事会議にも出席できないタイプの人々であった。

そこから憤懣が内燃し、信玄を含めた軍事専門の宿老を排除しようという謀叛の企てが生まれても、決しておかしくはない。要するに義信衆



甲府市東光寺にある武田義信の墓

ということは、義信のために厳選してえらんだ人々ではなく、信玄とすれば武田内部の名族達への誠にやむを得ない恩賞が、この悲劇を生んだと見られるのである。

たとえば永禄4年(1561)ころまで、信玄と義信の間には、きわどった阻害関係は生じておらず、また見当たらない。弘治3年(1557)12月の親子連名で出した、春日居の常性寺文書、中牧の宝珠寺文書など見ても、何等おかしいところは見られないし、永禄6年の親子が美和神社に奉納し

た三十六歌仙など見ても、二人の関係は義信が謀叛を起こす様子など信じられないのである。もちろん戦国の苛烈きわまりない時代であれば、憤懣も起ころうし、意見の衝突くらい当たり前のである。けれどもそこから謀叛が起こるということは、稚氣に等しい行為と云わざるを得ない。

そこから浮かび上がってくるのは、義信一人の憤懣というのではなく、人の好い、お坊ちゃんタイプの義信が、内務臣僚らの不満分子の突き上げを食らって、無残な事件を引き起こしてしまったと見れば、理解が出来よう。

その代表は長坂源五郎や曾禰孫次郎昌世らで、頭目に飯富兵部少輔虎昌を立てたのである。甲陽軍鑑には、すべては義信の若気にあり、利根すぎた大将だからと書かれているが、私は若気の義信が不満分子の家臣らに、おだてられ、突き上げを食らったのが真相ではないかと見ている。

また義信の妻は今川家に帰された。一番悲劇的であったのは、義信の母三条夫人ではないかと思われる。美和神社に永禄9年(1566)11月、三条夫人が奉納した、義信の元服鎧と古文書が一通残されている。

鎧は赤具足、子供用のもので、この鎧が武田の赤備の濫觴となった。三条夫人はこの鎧を美和神社に奉納して、義信の本復を願い、若き日の恵まれた日々の心に戻ってもらいたいと念願したのである。しかし義信は永禄10年10月19日、東光寺の座敷牢で自害して果てた。その諱法は「東光寺殿壽山良公大禪定門」といい、甲府東光寺にその遺骸は埋葬された。

暗殺現場を絵に

お風呂で眠りこけているおじさんの団のようにも見えるけれど、そうではない。よく見ると、右手に羽ペン、左手に手紙。さらによく見ると、胸のところに刺し傷が!? おお、さらによく見ると、血、血が! わざかに見える浴槽の湯は真っ赤! 床にはナイフ! と、マークがつづいてしまうことになる。

この絵は、気性の激しい血氣盛んな革命派のジャーナリスト、マラーの死を描いたものだ。時は1793年、フランス。1789年にフランス革命が起こったばかりの時代。リアルタイムで革命の時代を生きていた芸術家ダヴィットは、肖像画家としてその名を知られていた。

縦165センチ、横130センチのけっこう大きなこの絵、実にスキャンダラスな「事件現場写真」のようでもあり、今となっては重要な歴史画のようにも見える。

誰がマラーを殺したのか?

暗殺の事と次第も、絵の中から読みとることができる。

まずは、なぜ浴槽で暗殺? かといふことだが、マラーは浴室でお湯につかりながら何時間も記事を書くくせがあった。

この日、7月13日もそうだった。

左手の手紙は、実際に読むことができる。それは、一市民を装った王党派の女性シャルロット・コルデーからの手紙だ。1793年7月13日の日付が書かれているこの手紙は、ある悩み事の相談の手紙であり、彼女はそのためにマラー家を訪れ、浴室に

ボクの美術品観察日記
誰がマラーを殺したのか?
浴室に死体が!?

いるマラーに悩みを話すふりをしながら、頃合いを見計らって暗殺したのである。

貧乏なマラーなのに崇高なイメージが

浴槽には、長時間仕事をしても肌が擦れないように布を這らしており、机のかわりに板をのせていた。粗末な箱はインク瓶を置く台の変わり。

貧しかったマラーの生活振りがうかがわれる。

にもかかわらずこの絵は、スポットライトに照らし出されたように印象的で、高貴で、美しい。まるでキリストの死のように、殉教者のイメージを湛えているかに見える。

それもそのはずでダヴィットは、このマラーの死のイメージを、ミケランジェロの「ピエタ」から借用している(図版参照)。「ピエタ」には「慈悲心」の意味があるそうで、この彫刻は、十字架にはりつけにされて死んだキリストを膝にのせて、悲嘆にくれている聖母マリアの姿を表している。

だからこそ私たちは、貧乏で食べるにも事欠いたジャーナリストの悲しいイメージではなく、気高く崇高なイメージをこの絵から受け取ることができるのだ。

粗末な箱には、「マラーへ、ダヴィット」と記されている。革命派の画家ダヴィットは、マラーの死を悼み、マラーの葬儀までも請け負い、その様子も絵に描いている。

悲しい晩年 かたくなな心

ダヴィットは、パリの鉄卸商の父親の元に生まれたが、その父親はダヴィットが19歳の時に決闘で死んでしまった。

まう。成人して金持ちの娘と結婚するが、急進派のロベスピエールやダントンと仲良しになり、とうとう妻とは離婚する羽目になる(2年後に復縁している)。革命的な考え方をもっていたために、投獄されてもいるのだ。しかし、絵の腕前は上々だったので、若くしてアカデミーの会員になっていた。

ナポレオンのパリ凱旋に感激して、有名なナポレオンの騎馬像の絵も描いている。赤いマントを翻して、馬上で空を指さしている、勇壮な絵である。ナポレオンにあまりにも入れ込んでしまったため、その後、ナポレオンがワーテルローの戦いに敗れた折、スイスに逃亡する。やがてフランスは王政が復古してしまい、晩年は亡命生活を送ることになる。

76歳の年、辻馬車に跳ねられて体調を崩し、翌年脳卒中で倒れ、1825年12月29日に他界している。祖国フランスから恩赦の話もあったが、それを断り、とうとうフランスには戻らないまま、他国で死んでいったところなども、ダヴィットらしい。



ジャック・ルイ・ダヴィット
『マラーの死』1793年
ブリュッセル王立美術館蔵



犯人からのニセ手紙



刺したナイフ



羽ペン

粗末な箱とダヴィットのサイン



マラーの顔



刺された傷跡と浴槽の血

ニュージアム・マガジン・リーム(DOMEU編集長)/アートマガジン・ル・ナル(日本編集長/主な見物・芸術・文化の見方)、アーティスト・コレクション・マガジン(日本編集長)の講演を多数、美術出版社・週刊朝日などに執筆。大学や美術館などで講演活動を多數。著書に『アーティングリスト・ナビ』(岩波)など。著者はyamamoto.makoto@yandex.ruまで、お問い合わせ料

16

見る滝ハイキング



大柳川本流ぞいにある十谷温泉のガマの岩場は風情がある



松林の中に残る古い石垣は昔のたんぱの跡



参考タイム

- 国道52号 ↓ 車10分
- 十谷地区下駐車場 ↓ 徒歩25分
- 天淵の滝 ↓ 徒歩40分
- まぼろしの滝

vol.12 大柳川・梨の木沢 まぼろしの滝 (武沢町) 写真と文 上野 崑



まぼろしの滝と觀音滝(上)は合わせて73mという高さ

黒沢町西部の山峡を流れる大柳川には、天淵の滝、觀音滝、鏡子口二段の滝など、著名な滝がいくつもある。そしてその支流、梨の木沢にもまた、涼みの滝、五段の滝などがあり、滝見コース終点に、上部の穴觀音の滝と合わせて七三段といいう高さを誇るこまぼろしの滝があるのだ。

十谷地区の手前で大柳川の岸边に下り、歩き始めてすぐに新設された竜門橋、竜神橋の二つの吊橋を渡る。どちらも立派なものだが、特に竜神橋はかなり傾斜のある吊橋で、中段に展望台が設けてあるという珍しいものだ。二つ渡り終えてしばらく左岸を行くと、また右岸に渡る吊橋があるが、ここには大柳川本流の巨大な礫岩を真っ二つに割つて、天淵の滝が落ちている。

石垣を見てもう少し登り、左に行けば五段の滝、右にわずかでまぼろしの滝である。格好の展望台があつて、壯大なまぼろしの滝の全容と、上に続く穴觀音の滝が見える。右手の樹間にには十谷の集落も見下ろせる。

戻ってやや歩きにくい竹林を通過すると、大きなスギ林の中には、かなり高さのある古い石垣が見える。これは、昔この梨の木沢上部の台地に大草里という集落があつて、そここの住民が作った田圃の跡だという。昭和四十年代まで、この地に居住していたの荷主の貨物を甲府駅・南甲府駅、そして酒折駅の営業所で取り扱った。

天淵の滝下で右岸に流れ込んだ本流コースから離れて左に入れる。コースは全体としてかなり急だが、よく整備されているし、標識が随所にあるので心配ない。天狗橋を渡つて間もなく右手に少し入ると、涼みの滝がある。滝の飛沫を浴びるほど近付くことが出来る。

そうだ。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。

滝の飛沫を浴びるほど近付くこと

が出来る。

天淵の滝下で右岸に流れ込

む本流コースから離れて左に入

れる。コースは全体としてかなり急

だが、よく整備されているし、標

識が随所にあるので心配ない。

天狗橋を渡つて間もなく右手に

少し入ると、涼みの滝がある。



宿泊施設
心身を鍛えられる
絶好のロケーションで



◆施設概要◆
テニスコート37面／第1体育館／第2体育館／総合グラウンド／多目的ホール／研修機／コテージ



まだ太陽の日差しが強い9月。何面も連なるテニスコートで盛んに練習に励む学生たちがいれば、缶ジュースの補充に自販機をせわしく駆けめぐる人がいる。ロビーはと言えば、たった今到着したばかりの団体客でごったがえしていた。それが、取材先で最初に目にした光景だ。

「ニューみなみ」は山中湖平野に建つ団体向け宿泊施設。「開業して今年で13年を迎えます」と若社長の天野公太さんが答えてくれた。

春は新人研修や企業研修、オリエンテーション、夏秋はスポーツ合宿や移動教室など、様々な内容に対応。「1団体230名様にものぼる時があり、関西方面からのお客様も多い」そうだ。

雄大な富士山をバックに身体を動かした後は、昨年出来たばかりのお風呂(桧と露天)で汗を流す。それに同じ釜の飯を食べるのも、仲間と親睦を深めるには最適だろう。

トヨタビスタの坂本さんとは「大学生の時にここでバイトをしていたことから始まって、10年来のおつき合い」という。こちらにあるビスタの車は、ハイエースとアリスト(S300ベルテックスエディション)

【DATA】
営業期間 3月～12月(1～2月は休業)
料 金 1泊2食付き 6700円
TEL 0555-65-8859
URL <http://www.fujigoko.org/minami/>

目利き腕利きのお父さんが
家族への愛情を
カタチにあらわした家



櫛形町の柿平に建つ家。玄関を入ると、優ちゃん(中1)と彩ちゃん(小4)がそろって出迎え、可愛らしい声できちんと挨拶をしてくれた。今回お訪ねしたのは、4月下旬に完成した鈴木知さん(39歳)宅。工場で製作を担当していることもあって最初は「シンセ」を考えていたそうだが、検討の末、最終的に「メレーゼ」に決定したという。全スペースなど、使いやすくてとても便利」と奥さんの知子さんが話すと「風が一般的だが、鈴木家では端にとり、呂だけはちょっと贅沢にジェットバスリビングと和室がひと続きになっていましたんですよ」とご主人。

「子供たちが帰ってきたとき、必ず子供部屋の壁紙もそれぞれ好きな顔を合わせられるように」とこの間取りにしたそうだ。1階にはリビング、和室の他、ダイニング&キッチン、バス、トイレ、洗面所

もあり、土地の斡旋から信頼してお任せしたという。以前住んでいた場所から近いため、娘さんたちの学校も変更戸が配されわらずにいられ、そんな点も満足度を高めたようだ。

「シンクが上白壁とフローリングとの色合いが調和した、ナチュラルな雰囲気のリビングやパリアフリー。床暖房も整ったこの部屋から、いーのお風呂、いつも鈴木さんご一家の明るい笑い声ゆとりある収納が聞こえてきそうだ。

タイという国とつきあい始めて十五年以上になる。この国へどうしても行こうとわたしを驅り立てたのは南部にある「タイの真珠」と言われるブーケット島での売春少女焼死事件だった。その取材結果は「少女売春を追って—タイ探索の旅」(近代文芸社・目下品切れ)として出版社に出版することができたのだが、なぜタイに売春が華咲き、特に少女売春が問題になったのか、描書においてわたしに追及した。その探求を深める中で、わたしの関心は売春なども含めたタイ社会のインフォーマルな経済活動へと広がっていった。インフォーマルという言葉はインフォーマル・セクターという経用語との関連で使っているのだが、日本語に訳せば「非公式部門」とでもいうことになるだろう。わたし流に言うと、例えば登記された会社などのようにその存在が公認されているわけではなく、まるで雑草のようにいつの間にか現れ、踏まれることがあってもしぶとく生き抜いている、いわば庶民の、庶民による、庶民というより広く大れでも(観光客なども含めた人)のための経済活動とでも言ったらよからうか。当然のように税金などを納めている例はほとんどない。そして、売春という活動もまたこのインフォーマルな経済活動の一つとして位置づけることができる。アジアの国の町角を歩いた経験のある人なら必ずこのインフォーマルな庶民の活動に出会っているはずだが、たまたま

まわたしはタイとのつきあいを深めていたので、タイのそれもバンコクあたりで目立つ活動に注目することになり、ついにこれらの活動を調べてみようということにまで発展した。

会いたい人から 会いたい人へ
知りたいことから 知りたいことへ
リレーでつなぐエッセイ

バンコク・町角の主役



不二牧駿
ふじまきしゅん
作家

タイの大学が研究員ということで受け入れてくれるというチャンスを得て、わたしは屋台商、衣類縫製下請け、モーターサイクル・タクシーの三つの活動を取り上げた。この調査結果は近く書物にまとめて出版したいと考えて準備を進めているのだが、ここでは最も庶民的な活動である屋台商人の姿の一端を紹介してみたい。

屋台商人たちは主として公の歩道の上などに屋台店を構えて商売をしている。もちろん歩道で商売することは法律の上では禁じられている。これらの商人たちの取り締まりに直接当たるのはバンコクでは「テサキット」と呼ばれる公務員であり、一般の警官とは違って街区の秩序維持、清潔保持を任務としているバン

コク独特的の役人である。バンコク都庁はこれらの商人達の行為を黙認したり、非公式に認めたりしていることに伴い、仕事場の清潔整頓とか場所によってはきちんと区割りを行ない、区割りごとに商人を登録させるとかといったことを守らせている。たまたまこの八月に5年前の調査の追跡調査ということで歩いた勝利記念塔広場で、わたしはテサキットが区割り図面を手にして登録商人の確認をしているところに遇到了。今年七月の選挙で代わったバンコク市長が撤廃した

が、前の市長は屋台商たちの水曜日営業を禁じてもいた。今回調査の結果についてはまだ最終的にまとめてはいないが、とにかく5年前との比較で言えることは屋台商人の数が、バンコク市では否定しているにもかかわらず、増えていることだ。経済の停滞に伴ってリストラされた銀行マンなどまでが屋台商に新規参入しているせいもあるだろう。売り手は増えたが買ってくれる客は増えないから一人当たりの稼ぎは減る。5年前と同じ場所に座って味付けおこわ(カオニヤオ)とカスタードまたは季節によってマンゴーを売っている女性は「ここで20年商売しているけど、貯金を降ろして支払いをしたのは初めてよ」と言っていた。今、屋台商たちは厳しい状況に直面しているのだが、彼女・彼らが暗い表情を見せないことが救いだ。この程度のことでは、何を隠しても

ときのひと・FACE

人を結ぶ。地域と結ぶ
知ってほしい心の交流スポット

よき理解者に恵まれて

「押し花」と聞くと、新聞紙に挟んで重石をしてというイメージが湧くが、それはとても原始的な方法。様々な資材が開発され、長期保存も可能となった今では、デザインのバリエーションも一挙に広がった。

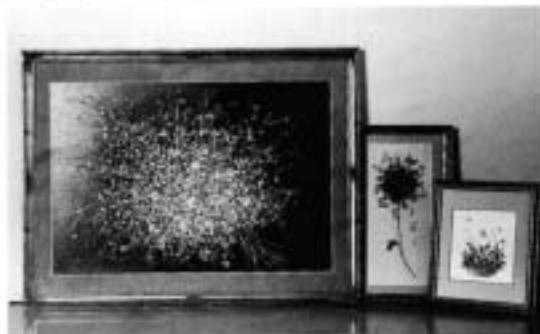
今回はその「押し花」に魅せられた素敵な女性を取材した。

甲府通運にお勤めの加賀まるみさん。最初は県内の講座でドライフラワーを習っていたが、子どものピアノの発表会などでいただくブーケを何とか額にして残せないかと思い、押し花へ移行したそうだ。

「たまたま見ていた雑誌に、押し花では先駆者の岩田一恵先生のことが載っていました」と加賀さん。実際に作品展を見に行き「やはりこの先生に師事を受けたい」と思ったという。

それから月2回の東京通いを続けて5年。ボンド貼りだけでも3年はかかるが、努力の末、みごと免状も取得。

働きながら習い事を続けるのは大



変では?と尋ねると「主人が、先生に教わり始めてから作品もグンと良くなったり、頑張れ、と励ましてくれるんです」という返事が戻ってきた。なるほど、身近に理解者&応援者がいてくれれば趣味にだって気兼ねなく打ち込める。それがパートナーなら、これほど心強いことはないだろう。

人の出逢いを作品に

それまでは見本を真似て作るやり方だったが、岩田先生のところでは「花の入れ方など、前もってきちんと製図してから仕上げてゆくのが大きな違い」という。綿密な構想があってこそ叶う、高い完成度。デザインに合わせて白紙に色を塗ったり金粉をふるうなど、バックメイキング

にも工夫が施されている。「花につける色材など順に変わってきたし、斬新なアイデアの作風に触れられる」と研究熱心な先生のおかげで得ことが多い。そんな加賀さんも「始めた頃は植物の名前を知らない大変だった」という。退色の激しいものや逆に退色していい色になるものなど、花の知識がまず必要だからだ。

「好みにもよりますが、近所に咲いているちょっとした雑草さえ、素材になるんですよ」。同じ素材を使っても出来上がりは全然別の雰囲気になるというから、複数の方とともに習うメリットも大きいらしい。

じつは加賀さん、地元・白根町の合唱団にも所属していて、先日は病院を慰問し患者さんたちと一緒に歌ったのだそう。「いろいろな人の出逢いで感じたことを、自分の作品の中に残せたらと思っています」。

素敵な彼女の作品が少しでも多くの人の目に触れ、これからさらに評判が高まってゆきますように。

[取材:原田陽子]

押し花に託された感性豊かな美しい心



甲府通運株式会社 本社事務

加賀まるみさん(白根町)



某月某日

力関係は何によって決まる？

×月×日

この世の中多かれ少なかれ「力関係」といいうものが存在する。例えば、「あの会社は大手だから競争しても難しい」とか、「あの人にこう言われては、しょうがない」など等、力関係の強いものは得をすることが多い。「長いものは巻かれろ」とも言う。

こうしてある程度の妥協を積み重ねながら、生きているのだが、この現象をもう少し掘り下げる考えてみよう。当然のことながら、何らかの原因があるから、妥協するわけで、例にあげた「大手の会社」の場合、会社の資金力、ソフ

ト・ハード面での蓄積、および会社のシェアなどといったものがその原因となる。このように分析するのが、経済・経営学となるが、本当はこれだけでは不十分である。

「大手の会社」といえども初めから優位であった訳ではなく、色々と努力して市場に対する支配力を強めていったわけで、学問では、その努力を分解して、例えば「技術力がある」とか「有能な人材がそろっている」とか言うことになるが、何か物足りない。

発生のメカニズム

×月×日

突き詰めてその差を分析してみると、実は、取るに足らないもののように見える非常に小さな差が、年月を経て大きな差を生み出していることに気が付く。例えば「技術」を売り物にする会社が、発展する原因となった「初期の技術」を調べると、現代では何ということもない幼稚なものだったりする。「成功した経営者の歴史」等を調べると、「ほんの一つの賞品が当たった」とか、いわゆる「目の付け所がよ

極論すれば、「運がよかった」と言うしかないと、これは非常に厄介で、「成功する企業の秘訣は運です！」等と言ったら、狂人もしくは新手の宗教勧説かとする思われてしまう。生物学では、地球上に初めて発生した生物は、有機物と水とのスープがない幼稚なものだったりする。「成功した経営者が進化したと言われる。社会科学といえどもこの「偶然」の部分の人工的な再現というかかった」という小さな差のことが多い。

均衡(バランス)が生まれるまで

×月×日

最近結婚して、この夏ハネムーンなるものに行ってきた。相手は心得たもので、「成田離婚しないための本」というのを何處かから買って、「女性にとって新婚旅行とは、お小遣い付きで買い物旅行のできる最後のチャンス」という部分を強調し、有無を言わさずに自分のペースで旅行計画を進めてゆく。

これではいけないと思いながらも、最後には前に例にあげた「長い物には巻かれろ」ということになり、言うなりになってしまふ。

実はこの様にしてできた力関係は、経済用語では「ナッシュの均衡」と言い、恐ろしいことに、ある程度安定である。

この様な力関係の原因は、相手が優れているからと言うわけではなく、前に述べたような

小さな事柄の積み重ねから発生し、ある程度積み重なると安定化する。

もう一つ恐ろしいのは、「優位にたった側の立場は、時間が経過するほど強力になる」ということで、例えば現実社会では「力の弱い企業は大企業に吸収されてゆく」と言う風にして、優位なもののがどんどん膨れ上る傾向があり、「偶然とも言うべき小さな力」がその崩壊の原因となるまで待たなくてはならない。(例えば「恐竜の絶滅」)

こうして「偶然の力」を人工的に作り出すことについて画策することになるのだが、その先から「ビールが飲みたいんだけど、ちょっと買っ

てきてくれない?」と言う声がする。うーん、拒否するべきか?

[文:杉村聰]